

町田第六小学校の教育

～アットホーム町六小～

よく考える子

健康な子

心豊かな子

高ヶ坂団地の東に位置する町田第六小学校は、開校48年を迎える、13学級（特別支援学級1）で全校児童が359人のアットホームな学校です。よく考える子・心豊かな子・健康な子という学校教育目標のもと『全児童を全職員で育てる』をモットーに、日々の教育活動を進めています。

一人一人が楽しめる活動が本校の自慢です。特に、児童集会活動は、通常の集会活動の他に、仲良し集会・名人集会・地域の方々と一緒に楽しむ町六祭り・隔年の冬のコンサートなどバラエティに富んでいます。また、体力づくりのために学期毎に「町六マッスル週間」を設け、学年毎に目標を決めて取り組んでいます。広い校庭はいつもに増して子どもたちの動き回る姿でいっぱいです。また、肢体の特別支援学級の子どもたちと通常学級との生活・学習交流を日常的に行っています。校外学習や音楽・交流給食・仲良し活動を通して互いを思いやる気持ちや人権感覚を育てています。



▲わかる授業づくり

解・納得し合いながら学習を進め、相手を認める姿が育つ学び合いを学習過程に生かしています。町田市教育委員会の研究推進校として、10月5日（金）に公開発表を予定しています。多くの皆さまの来校をお待ちしています。

地域や保護者の皆さまと連携を深め、ともに子どもを育てる学びの場として、教職員一同学校環境を充実させ、明日が待たれる地域の町田第六小学校を目指しています。



▲町六マッスル週間

また、わかってできる学習だからこそ楽しくもあり、意欲もわいてきます。そこで本校では、算数科でわかる授業づくりに全校体制で取り組んでいます。学習でも相手の考えややり方を理解



▲町六祭りで餅つき

図師小学校の教育

～かしこく・やさしく・たくましく～



本校は、町田市41校目の小学校として、2009年4月に開校しました。緑に囲まれ鳥のさえずりが響く高台にあり、新しく開放感のある校舎と広い校庭が特徴の学校です。全校児童505人、17学級、通級学級4学級です。

開校から「心豊かに感じ合い、伝え合う子供」という研究主題に取り組んできました。町田市教育委員会の研究推進校として、2010年度、2011年度の2年間、「心豊かに感じ合い、伝え合う子供～国語科 話すこと・



▲開放感ある校舎

聞くことの学習を通して～」を掲げ、日本国語教育学会常任理事・栗岩英雄先生のご指導のもと、地道な授業実践を進めて参りました。お陰様で焦点を絞った研究となりました。常々、栗岩先生のおっしゃる「どの子どもにも話す場をあたえる」「話したい気持ちを大切に」「話す方法を示す」そして、「話し合わせる」という視点を外さず、校内研究は進みま



▲研究会講師 栗岩英雄先生

した。去る2月10日（金）の研究発表会では、全教職員で取り組んできた成果を発表することができました。当日は、地域・保護者の皆さま、外部来校者等大勢の方に授業・発表会を見て頂きました。市内、都内の先生方はもちろん、静岡県、宮城県や岡山県からもご来校頂き、「授業に一生懸命取り組む子どもたちの様子に感動した」という言葉や、「研究の内容も参考になりました」等の感想を頂きました。PTAの方々にも受付や道案内などの仕事にご協力頂き、チーム図師の力が発揮できました。さらに心豊かに伝え合う子どもに成長できるように研究を続けていきます。



▲対話を楽しむ子どもたち



わがまち学校たんけん隊!

成瀬台中学校の教育

～地域とともに歩む～

本校は、「自主」「敬愛」「克己」を教育目標とし「学校は安全で楽しい場」をモットーに、生涯にわたり学び続けるたくましい生徒、人の痛みの分かる生徒、自他を尊重する生徒を育成するべく、開校以来33年、地域とのつながりを重視して教育活動を行っています。

その特色ある教育活動のひとつが、毎年3月第1土曜日に行われる「社会人せんせい」。今年で15年目を迎える伝統ある取り組みです。地域で活躍する方やその仕事のスペシャリストを講師としてお招きし、「生き方学習」の視点から卒業や進級を控えた全生徒が自分の興味や関心のある講座を選んで受講するものです。この3月も東日本大震災の被災地である陸前高田の方やJAXA（宇宙航空研究開発機構）の方、美容師さん、保育士さん、消防士さん、新聞記者の方など様々な職業人をお招きして、ここでしか聞けない話や実演に触れたり、ダンスや表現活動で身体を動かしたりと、全18講座を地域の方と一緒に楽しく学習しました。来年も3月2日（土）に開催します。お時間が許せば、ぜひ、皆さまにもご来校いただきたいと思ひます。



▲社会人せんせい
「Let's DANCING!」

もう一つの特徴ある教育活動として、「朝読書」と「図書館教育」があります。「朝読書」は、始業前の10分間、生徒全員が自分で好きな本を持ち寄って教室で読むという時間です。8時28分になると予鈴が鳴り、先生も生徒も一緒に静かに読書します。特別な行事がない限り1年を通して行います。一方、本校の図書館は蔵書が約1万2000冊。読書エリアと調べ物エリアと整理されたコーナーには昼休みともなると大勢の生徒が来館します。「修学旅行」「体育祭」などその時節に応じたディスプレイがされ、楽しい生徒の読書意欲を喚起してくれます。その整備には地域の図書指導員の方を始め、地域の方々がかかせない力となっています。



▲社会人せんせい「犬は友達」



▲生徒でにぎわう昼休みの図書館

南成瀬中学校の教育

～我慢・優しさ・学ぶ・行動～

本校は、創立30周年を迎えた学校です。JR横浜線から元気に遊ぶ生徒の姿や「南成中」という大きな文字が見えます。南成瀬中の理想とする生徒像は、教育目標のキーワードから「目標に向かって我慢強く努力する生徒」、「人に優しくする生徒」、「意欲的に学ぶ生徒」、「素早く行動する生徒」の4つです。その理想に近づくためには、「自分力」を高めることが大切になってきます。「自分力」とは、その人が持っている「知識や技能・技術」を活用して、物事を解決していく力でも考えればよいのでしょうか。人には、学習する力、他人と上手に接する力、自分の思いをうまく伝える力、視点を変えて、走ったり、跳んだり、物を遠くに投げるなどの運動する力などいろいろあると思います。今持っている力をさらに広げ高めていって欲しいです。



▲桜満開の校庭



▲新入生歓迎会

そのためには受け身ではいけない。自分で考え、判断して、積極的に行動してみる。その結果、うまくいくこともあれば、失敗することもあります。失敗を怖がらず、思い切って挑戦してみる。成功と失敗の繰り返しを重ねることで、「自分力」は高まっていくと思います。

「過去と他人は変えられない。自分と未来は変えられる!」と言った人がいます。過ぎ去ったことや、他人の心を変えることは難しい。しかし、自分の心や未来は考え方によって大きく変えることができる。なんと希望の持てる素敵な言葉でしょうか。この南成瀬中学校で、新しいことに挑戦し、経験を重ね、「自分力」を高めることで理想の生徒像に近づき、未来作りの基礎を築いて欲しいと願っています。



▲横浜線の車内から臨む校舎